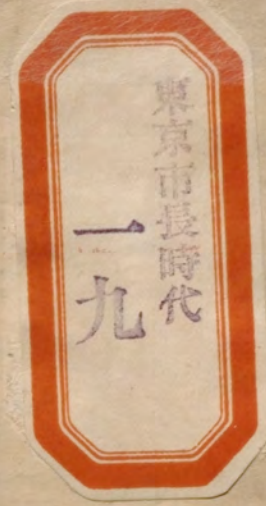


大正十二年四月廿五日



市長辭職申出

即日翌廿六日都下新聞

東京市日比谷公園市政會館內(五階)
後藤新平伯傳記編纂會

電話銀座(57) 二二〇〇 二一六番

知事 12.4.26 新聞

突然市長の椅子を 投出した後藤さん

理由は身邊多事さ

重荷を卸して苦笑ひ

とうとう、辞職を決定した後藤市長は「今、参事会の方が見えて辞めるのは」

不都合だ」とまさか

ういふわけではないが、此れは所謂「参事会の方が見えて辞めるのは」

「参事会の方が見えて辞めるのは」

行動でなく、永田助役

には昨日他の二助役には今朝にな

つて初めて打ち明けた市蔵(会)

も今知つて驚いてゐるやうなわけ

である、身邊多事の理由が、ヨッ

フェの問題でといふのは世間多く

の見てゐる所だがそれが理由では

ない」といひ他の理由とは何かと

重ねてきけば「よつと考へるやう

にして、参事会と無難にひひ放

つて苦笑する、そして政局に関係

しては勿論ないといふ、日露交渉の

全權を委任する、結局市長のい

はゆる身邊多事の理由は「つかり

わからなかつた」後藤を推薦する

在職二年半

八億圓計畫から

小学校教育の改善まで

市に致した後藤子の功績

改善から、社会的施設

等は先づ比較的成果が著つてゐ

る、事業は大體に於て豫期され

た成績は見る事ができなかった

が事業以外に市民教育のために大

いに力あつた事は認めねばならぬ

市長が年俸三万五千円を投出した

三助役は

一蓮托生

課長級にも

異動あらん

早くも噂に上る

後任の顔觸

仲小路さんや阪谷さん
徳川さんまで引張出す

市蔵の後でまた一しきり騒がし

い事だ

市會議長の柳沢伯は

「参事会の方が見えて辞めるのは」

「参事会の方が見えて辞めるのは」

「参事会の方が見えて辞めるのは」

「参事会の方が見えて辞めるのは」

「参事会の方が見えて辞めるのは」

「参事会の方が見えて辞めるのは」

「参事会の方が見えて辞めるのは」

「参事会の方が見えて辞めるのは」

「参事会の方が見えて辞めるのは」

「参事会の方が見えて辞めるのは」

「参事会の方が見えて辞めるのは」

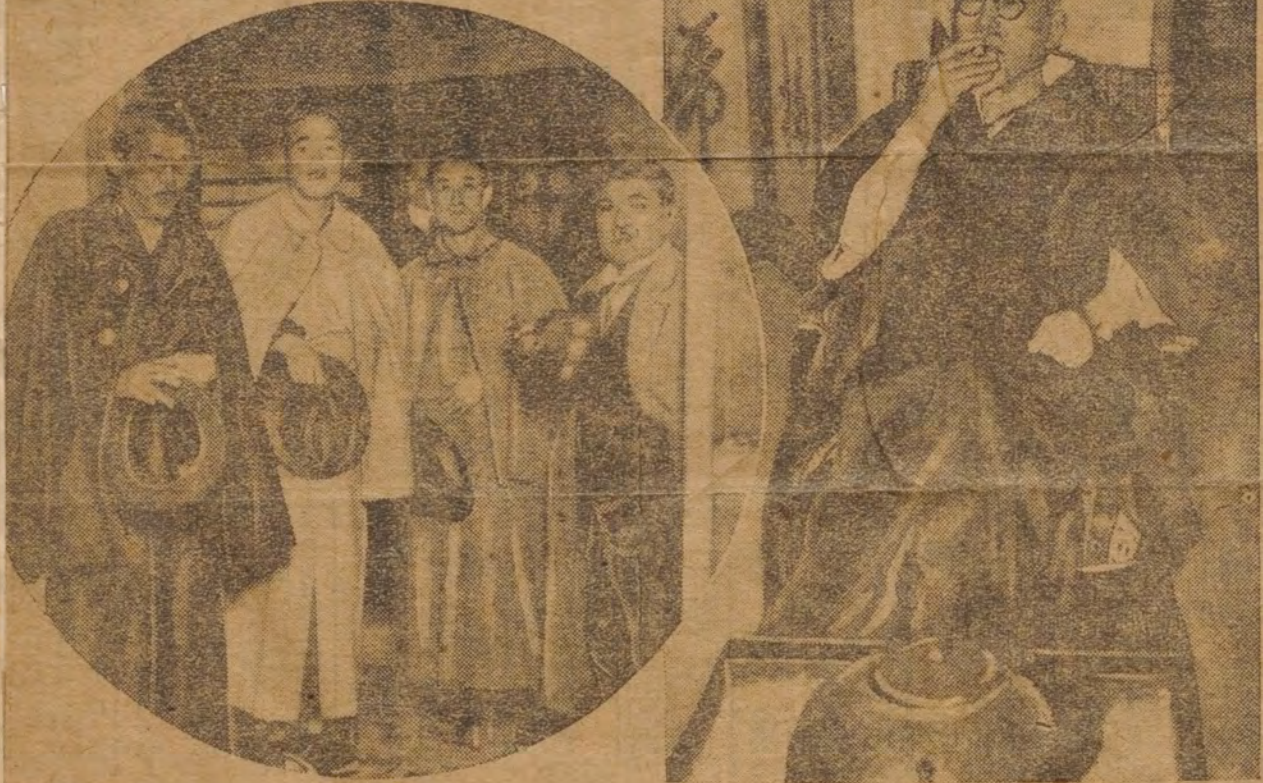
「参事会の方が見えて辞めるのは」

「参事会の方が見えて辞めるのは」

「参事会の方が見えて辞めるのは」

「参事会の方が見えて辞めるのは」

「参事会の方が見えて辞めるのは」



んさ藤後の夜のそ
か(右)者表代議の会市たけ掛押てい露
(議)市各の林若・坂小・川崎・田・藤ら

駈付けた四人の留男

八國國の大部來て、國民外交の名を以て、赤いロシアの極東代表ヨツフエヒを、まゝに誘き寄せた後藤市長が、さういふ橋子を投げ出した。何ぞいふ際だといふ芝居の打ち方だ。昨日の午後降り集る市事會員に投げ出したを證明し、昔大の露癪を喰はせ度體をぬいて置き乍ら子に涼しい顔でサツサと麻布狸穴の邸に引込んでしまつた。内には並ぶが新樹に雨がしがなく、一流しの下から行儀悪く踏みものばし一月である

助役も惜しい

留め男の若林氏語る

め切つた表が關に

突立つ書生

が遊客

二十五日市參事會で辭意を満した
後、市長の引留め候に還はれた四
人組の一人である吉林成昭氏を訪
つ、間もなく駅外の通から警外の
館が筒抜けに聞ゆる、城關の楨天
井の電燈が光る、淫猥の衝立から
座後間に竝く廊下に、隨着の像が
置かれてゐる、八疊の廳傍間には
中の大卓を圍むで紫檀の椅子

二十一日市參事會で辭意を満した
後、市長の引留め候に還はれた四
人組の一人である吉林成昭氏を訪
つ、間もなく駅外の通から警外の
館が筒抜けに聞ゆる、城關の楨天
井の電燈が光る、淫猥の衝立から
座後間に竝く廊下に、隨着の像が
置かれてゐる、八疊の廳傍間には
中の大卓を圍むで紫檀の椅子

なつて留任を斷言した譯さ、こ
ころが肯かばこゝ決心は堅いぞ、

來ると思つた日が來た

▲僕達四人は、今夜は本氣

「吉野は憲政事になるだらうと
想して堅い決心の下に諸君に御相
談さす御通告さいつた形式を取つ
た様な次第で永田には昨日（廿四
日）話したが變りの二助役には今
朝打明けた様な始末で國家の爲さ
は云へ諸君の誠意を承るゝ儀も

▲無下に拒絶する勇氣を

持たぬ折角の御親切故二十六日午

硝子戸の雨戸を破つて、次ぎの間の時計が七時を打つと、間もなく和服姿の福田氏以下市會議員四名

が問題の主人に見送られてそとへ出た。戸外に待受けた。寛寛のマグネシウムがバツバツと閃く。廊下間にシビレを切らして待伏せてゐた訪客はそれつとばかり客間に引返す主人のあざむきを遂つた。部屋の手前に、ドツカを投げ出した主人の左手に煙を煙り、顔の鼻眼鏡を左手の袖時計がキラリと光る、カッカと鳴るマゼスチック暖爐の外に、蓋の蓋のかつた青銅の火鉢まで部屋は可成り暖かい、矢のやうな訪客の質問を、さりげなく受け流し終ら、主人の語りは断切れよく進む『やめる事は出来ずも知らんよ』と云ひ切つて、客



A black and white photograph of a man, likely a scholar or artist, sitting and holding a long pipe (possibly a smoking pipe or a musical instrument) near his mouth. He is wearing glasses and a dark, patterned robe. The background features a large, stylized calligraphic character, possibly '死' (death), on a wall.

足勢から諸君も其の時刻にお出でを願ひたい」と僞う誠意を言せられたから、私共も此の隙を以て怒らせては事だと思つて其の隙につて八時過ぎ引下つた譯です。更に角部屋は別として「彼」の得意は思ふべしだね」まあ體察のしようは種々あるだらうが、さうだね

市長の後釜があるかつてのそりや
今の處人居が付かない永田助役
を招じて聞いたところ後藤氏とヨ
ツエ氏との現在までの關係をス
ツカリ打ちあけて話してくれたの

で私共も之を諒とした次第である此の専合市長がやめなければならぬ理由はなと思はれる傾にして市長の力量は兎に角として現在の様な名助役を得る事は豊東ないから市民の爲に困つた事だ」と諍つた

四日のヨ氏訪問の際に
ヨ氏が後藤子に感謝

後藤子 昨ヨッフエ氏の交渉で始終
後藤子に同伴し通譯の勞を取つて
居る森幸三氏を下落合の自邸に訪
うと「昨日(二十四日)正午後藤子
に同伴して熱海のヨッフエ氏を訪
問する」とヨ氏は訊つたより

▲衰弱が甚だし いので驚いた次第で、然し快よく後藤子と物語つた「閣下(後藤子)の盡力で日露交渉に一大曙光を見るに盡したは、非常に嬉しい私の身體なさは如何なつてかまはない、病化防止置なつて聞いて居るが一すも驚かない、暗號電報が解読され

たのは嬉しい」と快談して居る間、に北京より電文書類を携へて歸つたばかりの森、當ホルツマン氏と四名で食事を共にした私は、この

▲會見の記録を作る爲、長より一層遅れたが、これは追つて後藤子から致函に提出するさうである、入江、坂本兩博士の談話の結果出来れば上京してセント・ルイカ病院に入りたいと云つて居たが、疑いつて何日頃かは目下の病状では見當が付かないシベリヤ鐵道開放に就いて、私が個人としてヨ氏に聞いたら必ずやる云つて居た」

でも純ロシア人は認めぬ……

後藤子^{ごとうこ}が代表となつて日露交渉が、^{ひがくしやう}年の十一月八日の秘密閣議の
開かれるこの説を薦して廿五日夜、^{ひがくしやう}内田外相と加藤首相の意見は其時
元メルクロフ政府の首魁メルクロフ氏を東京ステーションホテルに
訪へば平然として語る「夫れは代表——これは秘密に東京に居る
私には前から判然明つて居た昨、露西亞人が——の手から北京に

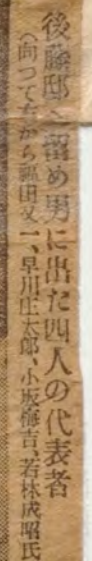
市長辭職の理由はそれ丈け

引留めても
駄目だこゝ後藤子

「八月廿五日」午後一時頃市参事會に向つて市長を辭したいと云ふ意思を發表した、すると参事會では餘り突然の事で困るから思ひ止らないか何れにしても發表しないで呉れ、暫時緩して置いて呉れと云ふことであつた。自分が辭する最大の理由は身邊が餘り忙しかつてである云ふのである。「何に？日課問題と多忙だからつて」其は世間から見ても多忙で其外に尙爲す可き多忙の事がある、一體市長と云ふものは隨分勤職で自分のやうな忙しいものには長く堪へられない事だ、参事會の選中が來て多量文でも宜しから留まされと云ふ事であつたが

其は好くない事であるからと云つて斷つた譯だ、僕は市長になつて一日でも休んだ事はない、であるから多量文等云ふ不徹底な事は出來ない恐らく例に倣つて世間は自分の辭めた事を發覺問題と結び付けて論ずるだらうが市長辭職の中にはそんな事は隠して居ない、或多忙の事は何んたつて？其は多忙の事さ

又陰謀だとでも云ふサ（市長になつて女分成續を擧げたかご問へば）イヤそれは純任した當時から自分は斷言した事で、一週間やつても五年や六年で此の市の大事業が完成し得るものぢやない、寧ろ三十年以上を要す



今月中覺束ない

だんく
良い
坂本博士語る

金澤博士は二十五日夜ヨツアエ氏
に血球検査の結果を贈し、熱海ホ
ルに歸つたが、血液中には全く反
なく、白血症に非ざる事が判明した
此兩三日の客臨に付て坂本博士は
語る「經過は

▲引續き良好　で、日夜は
四十一度の高熱を發し、重態に陥つ

して居る後、藝子から一日も早く東
京に連れて来るやうに言はれて
、又桑田の聖路加病院に入院す
る事となつて居つて

▲上京を急いで　居るが
此方に來た時には、步行に辛支な
つたのであるから、せめて歩けるや

馬賊大襲擊

巡查二名死傷

【大連廿五日發第一報】廿四日午
前二時頃關東州東倉內發生火災日本
國業會社に約八十名の馬賊團襲撃
名は負傷した右につき旅順から四
十名の巡査を應援の爲め増出し條
の五十名と共に警戒中である

黒の春季競馬會は目黒の東芝

馬場衆部競馬場で来る廿八日(土曜日)同二十九日(日曜日)と五日五日の(土曜日)同六日(日曜日)の四日間午前十時卅分から晴雨に拘はらず舉行することになつた

乘組將卒に酒肴料

發二十九日土佐沖を通過すべし
が同日は恰かも殿下の御誕生日
に當らせられるので牧野邑相以
下供奉員は御召室に奉仕御祝賀
を申上げ殿下より供奉員に賜餐

引留めても
駄目だこゝ
後藤子昨夜語る

二載で故に就任するの一年でも二年でもやつて辭めて好い云ふのなら就任しようとした位だ。自分が就任して大に得た事は大東京の自治は如何なるものである云ふ事を知つた事だ。

自分は市政研究

のモチユーデントとしては勉強したつもりであるから、今後市長を辭めて市の爲めに努力するつもりだ。安田義次郎翁の寄付に依る大公會堂の如きも第一の目算が付いた。市政研究會の如き何れも市政振興の爲めに相當な役目を務めて居られる程度になつたと思ふからマア忙しい身だ此處で辭めよう決心した譯サ、今日辭する事は氣である。

ない、辭表云つて別に正式に辭表は出して居ない、唯意思の表示で好い譯サ、正式にやれば知事の手を経て内務大臣に出すのだから、夫はホンの形式のもので自分は意思表示を行つたに過ぎないのだ。此で一寸忙しくなつて明日(二十六日のヨツフエ氏訪問も自然二三日は遅れよう云ふものだが、支那旅行説か？

留まれさ云ふ事であつたが、ぢやない體とて、三十年以上を要す、と決心し

後の事は宜しくと

後藤市長逃げる

昨日市参事會で辭職を聲明
辭表は今日宇佐美知事に
理由は身邊の多事

後藤市長は昨日五日市参事會に出席し、市参事會の正副議長に列席を求めた上、身邊の多事に堪へられぬことを聲明し、此の突然の聲明は、市参事會に驚きと騒ぎを起した。市長は、市参事會に出席し、市参事會の正副議長に列席を求めた上、身邊の多事に堪へられぬことを聲明し、此の突然の聲明は、市参事會に驚きと騒ぎを起した。

留任の 勸告をしよう

市参事會の四氏を代表して午後六時半、市参事會の議事室に於て、市長の留任を勸告しようとする。市長は、市参事會に出席し、市参事會の正副議長に列席を求めた上、身邊の多事に堪へられぬことを聲明し、此の突然の聲明は、市参事會に驚きと騒ぎを起した。

四名の 代表者は後藤子

市参事會の四氏を代表して午後六時半、市参事會の議事室に於て、市長の留任を勸告しようとする。市長は、市参事會に出席し、市参事會の正副議長に列席を求めた上、身邊の多事に堪へられぬことを聲明し、此の突然の聲明は、市参事會に驚きと騒ぎを起した。

絶對に 出来なからぬ

市参事會の四氏を代表して午後六時半、市参事會の議事室に於て、市長の留任を勸告しようとする。市長は、市参事會に出席し、市参事會の正副議長に列席を求めた上、身邊の多事に堪へられぬことを聲明し、此の突然の聲明は、市参事會に驚きと騒ぎを起した。

世間で 見た多忙であつ

市参事會の四氏を代表して午後六時半、市参事會の議事室に於て、市長の留任を勸告しようとする。市長は、市参事會に出席し、市参事會の正副議長に列席を求めた上、身邊の多事に堪へられぬことを聲明し、此の突然の聲明は、市参事會に驚きと騒ぎを起した。

有力な後任者は 昇格説も可成りある

市参事會の四氏を代表して午後六時半、市参事會の議事室に於て、市長の留任を勸告しようとする。市長は、市参事會に出席し、市参事會の正副議長に列席を求めた上、身邊の多事に堪へられぬことを聲明し、此の突然の聲明は、市参事會に驚きと騒ぎを起した。

市會側 力要望大に在

市参事會の四氏を代表して午後六時半、市参事會の議事室に於て、市長の留任を勸告しようとする。市長は、市参事會に出席し、市参事會の正副議長に列席を求めた上、身邊の多事に堪へられぬことを聲明し、此の突然の聲明は、市参事會に驚きと騒ぎを起した。

一萬羽の家鴨 廿五日の撮影宮

市参事會の四氏を代表して午後六時半、市参事會の議事室に於て、市長の留任を勸告しようとする。市長は、市参事會に出席し、市参事會の正副議長に列席を求めた上、身邊の多事に堪へられぬことを聲明し、此の突然の聲明は、市参事會に驚きと騒ぎを起した。

在任中の功過 路面改修—教育統一—塵芥處分

市参事會の四氏を代表して午後六時半、市参事會の議事室に於て、市長の留任を勸告しようとする。市長は、市参事會に出席し、市参事會の正副議長に列席を求めた上、身邊の多事に堪へられぬことを聲明し、此の突然の聲明は、市参事會に驚きと騒ぎを起した。

自治の觀念 市民に 植付けた

市参事會の四氏を代表して午後六時半、市参事會の議事室に於て、市長の留任を勸告しようとする。市長は、市参事會に出席し、市参事會の正副議長に列席を求めた上、身邊の多事に堪へられぬことを聲明し、此の突然の聲明は、市参事會に驚きと騒ぎを起した。



昨夜の後藤子—自邸に納まつたところ

内相への 辭意傳達は 永田助役

後藤市長は、市参事會の席上で、市参事會の正副議長に列席を求めた上、身邊の多事に堪へられぬことを聲明し、此の突然の聲明は、市参事會に驚きと騒ぎを起した。

熱海へ 行かないぞ

市参事會の四氏を代表して午後六時半、市参事會の議事室に於て、市長の留任を勸告しようとする。市長は、市参事會に出席し、市参事會の正副議長に列席を求めた上、身邊の多事に堪へられぬことを聲明し、此の突然の聲明は、市参事會に驚きと騒ぎを起した。

市會は永田助役を 推す意向—早川市議語る

市参事會の四氏を代表して午後六時半、市参事會の議事室に於て、市長の留任を勸告しようとする。市長は、市参事會に出席し、市参事會の正副議長に列席を求めた上、身邊の多事に堪へられぬことを聲明し、此の突然の聲明は、市参事會に驚きと騒ぎを起した。

市會は永田助役を 推す意向—早川市議語る

市参事會の四氏を代表して午後六時半、市参事會の議事室に於て、市長の留任を勸告しようとする。市長は、市参事會に出席し、市参事會の正副議長に列席を求めた上、身邊の多事に堪へられぬことを聲明し、此の突然の聲明は、市参事會に驚きと騒ぎを起した。

市會は永田助役を 推す意向—早川市議語る

市参事會の四氏を代表して午後六時半、市参事會の議事室に於て、市長の留任を勸告しようとする。市長は、市参事會に出席し、市参事會の正副議長に列席を求めた上、身邊の多事に堪へられぬことを聲明し、此の突然の聲明は、市参事會に驚きと騒ぎを起した。

市會は永田助役を 推す意向—早川市議語る

市参事會の四氏を代表して午後六時半、市参事會の議事室に於て、市長の留任を勸告しようとする。市長は、市参事會に出席し、市参事會の正副議長に列席を求めた上、身邊の多事に堪へられぬことを聲明し、此の突然の聲明は、市参事會に驚きと騒ぎを起した。

市會は永田助役を 推す意向—早川市議語る

市参事會の四氏を代表して午後六時半、市参事會の議事室に於て、市長の留任を勸告しようとする。市長は、市参事會に出席し、市参事會の正副議長に列席を求めた上、身邊の多事に堪へられぬことを聲明し、此の突然の聲明は、市参事會に驚きと騒ぎを起した。

市會は永田助役を 推す意向—早川市議語る

市参事會の四氏を代表して午後六時半、市参事會の議事室に於て、市長の留任を勸告しようとする。市長は、市参事會に出席し、市参事會の正副議長に列席を求めた上、身邊の多事に堪へられぬことを聲明し、此の突然の聲明は、市参事會に驚きと騒ぎを起した。

市會は永田助役を 推す意向—早川市議語る

市参事會の四氏を代表して午後六時半、市参事會の議事室に於て、市長の留任を勸告しようとする。市長は、市参事會に出席し、市参事會の正副議長に列席を求めた上、身邊の多事に堪へられぬことを聲明し、此の突然の聲明は、市参事會に驚きと騒ぎを起した。

市會は永田助役を 推す意向—早川市議語る

市参事會の四氏を代表して午後六時半、市参事會の議事室に於て、市長の留任を勸告しようとする。市長は、市参事會に出席し、市参事會の正副議長に列席を求めた上、身邊の多事に堪へられぬことを聲明し、此の突然の聲明は、市参事會に驚きと騒ぎを起した。

市會は永田助役を 推す意向—早川市議語る

市参事會の四氏を代表して午後六時半、市参事會の議事室に於て、市長の留任を勸告しようとする。市長は、市参事會に出席し、市参事會の正副議長に列席を求めた上、身邊の多事に堪へられぬことを聲明し、此の突然の聲明は、市参事會に驚きと騒ぎを起した。



此處が潮時と見て 後藤市長辭意を表す

對露問題解決の爲めに盡したいこと
今日一應留任勸告をするに云ふが
無駄であらう

留任勸告は絶対に 拒絶の決心だが

三助役と篤に相談の上
今日更めて回答するに

代表 四名が訪問して目前

市参事會を代表して後藤市長の許
に留任勸告に行つた若林成昭氏は
語る「今日午後六時半市長邸に
後藤市長を市参事會の

大正九年の十二月前東京市長田所
子爵が辭職があつても市政には無能
ださあつて追はれたやうな、逃げ
たやうな後で「ぜひ後藤さんに願
ひたい」と老の渡邊子爵まで出て
來て勸告委員一致で
擔ぎ上げられ、もつと重
大な仕事はあるが、折角のこゝだ
から受けよう云つた調子で乗り
出した後藤さん、就任後間もない
時から辭職説が傳へられたが、そ
れも乾兒等の宣傳ださあつて見も
角もあの俗氣の多い子が二年半
の間市長の椅子に止つてゐたが、
何が持つて持ち前の芝居氣と鬱勃た
る政治的
野心
が徒らに杉太でも金

私一人の考だ 誰とも相談しない

東京市を思はぬでない
が多忙で健康も害した

拒絶

する覚悟であつたので
すが、諸君の熱情ある御懇篤な勸
告に對しては無碍に排斥するの勇
氣を持たぬ、三助役には何事でも
へた」云々

市長

なり後藤者なりを推
選する事は市行政の上に惡例を樹
すからよせと永田が言ふから、併
し諸君から御相談があればは附加
云々

仕事

があつたから名譽ある市長に就任
した譯である、だから市會で後藤
市長不信任云ふ提案がない以上
は何年でも市長を務めて東京市民
の福利増進の爲めに最善の努力を
盡さうと云ふ考へてあつたが、近
時自分の身邊が多忙になり五
六時間しか寝られない有様なので
健康も害し、眞に市政の
爲めに力をつくす事が出来なくな
つたから市長を辭したいと云ふ事
になつたのである、私は決して
東京市政を思はぬ譯ぢやないが斯
うなつては致し方ない、今日午
後二時頃永田助役と共に内務省に
水野内相を訪問して
辭意を洩した次第である
次で市参事會に其の事を述べたが
瀟灑一致で引止められたが、自分
として如何ともする事が出来ぬ

御誕辰お祝

廿五日吳電話「東京御召禮は
廿八日基隆を發し廿九日朝士
佐沖を通過すべきが、同日は
殿下第廿三回御誕辰に相當す
るを以て、牧野宮相以下供奉
諸員は御召禮室内に御機嫌を
奉伺し各祝辭を言上し殿下に
は宮相以下供奉の各文武官に
午饗を賜ひ金剛比叡の乗組將
校に酒饌料を下賜さる、旨吳
領守府司令官宛電報があつた

海上で廿二回の

意郷

を訊した上年前十一
時迄に諸君に御答へしようとの
御話で分れて引取つた」云語つ
て落付き拂つたから此方から「市
長はさうしてもやめねばならぬ事
役の

大小さなく相談して來たのである
から今度の辭職の意志だけは永田
には一日前に話したが、前田、田所
の兩助役には今朝話したばかりで
あるから明二十六日朝市廳に出で
諸君の御厚意を各助役に傳へ各助
役の

腹の底まで覗かせる高笑ひ

——辭意を堅めた後藤さん（昨夜うつす）



番傘から突出した

後藤さんの慌てた顔

「なんでもないよ」といふ口の下から

そろ／＼漏らす大きな仕事

◇背負ひ切れぬ市長の重荷

歸つて 来た永田助役は「ワッハッハ、まだ辭表は俺のポケットにあるよ、だが確しる矢は弦を離れたからね、後藤市長——まだ市長だよ——後藤市長の辭職問題に所請だらう急といふヤツでね、だかりとしてあだが急にきまつたんだよ」と事もなげに笑ふ府ではいつ辭表が出るかわからないので土版庶務課長がピカアとのがらんとした室に私用の手紙などを書ながら、結局待ち受けを喰つた

永田助役が國々驛の内部官邸で浮かぬ顔の水野さんへ市長の辭意を傳へてあるうちに、當の後藤さんは藤田町の邸に歸つて六畳になるお孫さんが重荷の

枕元を 見舞つてゐた、女婦である藤田家の見舞の氏、その住居は同じ藤田の片側にある、そこから庭の敷石傳ひに白足袋で蕭條しの後藤さんが筆太に「後藤」とある番傘をさして来る「寫眞」ところの騒ぎぢやないよ」と記者をみて歸て、その番傘に首を隠したが、結局結局先へ突つ立つて大きな口を明けたところを

寫眞班

にカチリとやられるなど他愛がない「ナアに忙しいからさ、外に何があるものかね内閣の更迭だつて？ 元談云つちやいけない、世間の人がどんな與太を考へようと俺の責任ぢやなからう、罷めることは事實だ、併し別に辭表なんか出さないたつていさ」と彼の調子で一機に問題を笑殺しようとするが

葉莖の

死は思はず憂に

落ちかゝる「實際をいふとね、日警通商問題は最近漸く曙光が見えて来たんだよ、けれど、今の外務省にはそれを何うする力もないんだ、そこで俺がその大向だけを何とか旨く片付けてやらうといふのさ、あとの事務みたいなどはやはり餅屋の外務省に任すのだからね、そいつがまた

一方に

市長なんていふ

厄介な重荷を背負つてやれるやうな、そんな生易しい仕事ではないからな」とそろ／＼本音を吐く、肩子の邊には「國家の爲め」といふ色が窺はれた

だらり急

大變／＼と

狼狽の市廳

▽辭表はおれの腹
▽ろにさと青嵐氏

「後藤市長がいよいよ辭める」二十五日の市役所は午後になつて俄にざわめいた、定例の市参事會が

後藤子遂に辭表提出

永田助役代つて聲明

後、新子子はその事主張する日露、朝鮮貿易に關し、數日龍岡、内田外相と會見し、當局の意圖を體し、更に加藤外相の意を成し、脅へ、進捗したる廿四日は、湯ヶ原に、加藤外相を訪問し、更に、繁海のヨツアエ兵を四、五時間、駐つて、密議を成し、ヨシとの關係についても、密に諒解を得たので、是に更に實現に努力すべく、癸亥、廿五日、定例參事會に於て、東京市長を、説諭する旨を、聲明した。

紅い顔
兒玉伯の
あか
かほ

今朝市長から

代表委員後藤子と會見して
一應留任の勸告に

廿五日午後一時、永田助役は後藤市
の代理として、水野内相を官邸に
訪れ、口頭で一應市役を離職する旨
を附け出で、次で市役所に降り定款
を参事會に臨み、日暮に於て永田助
役は

これは後日に懸念を胎すのみで決し
て得る處はない、明日(廿六日)午
前中は何時も通り市役所へ出るか
ら其際、

三助役と も相談しを

後藤市長

理想りさうはやりたいが
寝ねる暇ひまもなくては

「後任者の推薦は斷然せぬ」と

後藤市長語る

右につき、自邸に後藤子を訪へば、
「今晩市街を練するに就ては勿論、
三晩後に晩會相續したのでなく、
自一個で済めた事だ、理由は要す
るに自分の身邊が非常に多忙で毎
日就寝時間も五六時間に過ぎぬ始
ま、市參事會に於ても體面し
た通り既に豫算も出来上つてゐる
から此處辭職させて貰ふつもりだ
如何なる市長と雖も一期や二期で
理想通りの仕事は出来るものでな
い、自分は一年でもその理想を嘗

市政を執

激務に過ぎる、といふ理由外に何
者もない就任以來旅行してゐる以
外は一日も市役所へ顔を出さぬ日
ふ後仕者の指名は断然せぬ然し

徹底させ 大事だと思

辭表を投げ出した昨夜の後藤市長（自邸の應接間にて）

不安ふあん漲みなぎる

乾分が多いだけ

影印音も多い

た事が國內に傳はると各謀長は彼所
に三人此處に二人と集まり何事
か議き合つて戦々競々として居る
それも其の筈である後藤子

矢は既に弦から

放はなされた

主人が罷めれば無論
女房役も罷めると

永田助役は語る

より後永田、前田、池田の三朋復
は市長席に集まり、硬辭か密議をし
て歸たが記者が置入つてゆくや改
選では市長席に限り取り、市長兼職
問題かい、あれは今迄の市へん
ありとやつて歸たのがまつぱり

市會が身體でも留便する意はない
でせうか、一聞人ば「矢は既に張
を放れた」と留任の意のない事を
聲明した、次で三朋復の

辭職問題 を問へば

と行つた迄の事さハ、ハ、ハ、と例
の大きな目を開いて
いふて「さうだ」といふ

大笑一番

を提出する事を口頭で遊べて来た内相としてはおいそれと承諾はしないが本體太閤個人としては既に諒解を得て居る」と既にこれまで彼が市に居るとは何人も會見して瞭解を求めて居る事を仄めかした一記者は「もし參事會議並に――」と語つて居た

市長の功績は

け
う
い
く
か
い

の

か
く
せ
い

次いで八億圓計畫と

愛市心と市民化運動

老朽らうきう小學校しょうがっこう校長ちやうりやうを
大淘汰だいたうたして教育界きういくかいを改かへ

革し校舍を新増築し、全部教育を擔
 負する事に努力した、次で子の所
 謂八億圓計畫中の大築港に對し略

確定した案を擧て更に内外の専門家を招致し市の施設事業を科學的方面より研究し殊に市の重大問題

力し又上下水道、道路地下埋設物、
道路鋪裝、水面交通等にも

全力を注いだが豫算の

が
つた
の
は
市
民
の
愛
市
心
潮
湧
と
市
民
化
運
動
で
あ
る

早くも第三黨の
あんちうひやく

夢想むそう 内閣ないかくの首班しゅはん

藤子ふじこが市長しやうじやうを辭職しじきしたに對して
政客しやうしの消息談しやうしだんによれば政界しやうかいに大

る波紋を描いて政友憲政共に
今後の
子の活動に際し

て盲目の誤を怠らないことは無
であるが、後藤子を中心とする第三
黨の白井、西、大、小、後、藤、子、り、正、と

非公式對露交
渉の開始

後藤子責任重大

岩瀬金曜日及び先週火曜日の兩度の開議は、加藤總理の病慮に拘らず斯る緊要な我國の財政態度に就て議せられ、總務部長とヨッフエ氏との間に非公式交渉を遂げる事を成辦するに至つたとの事である。一日日露兩國の交渉は、一度入選で開議大で感念に於て會議したが、不意兩度共に結果なく長年會議が昨年九月二十五日を以て決裂を見てから我政府は憂鬱の氣を窺ひ、露國亦日本の鐵意を窺ひ、互に爲めに、互に敵合の機を窺ひ、今日迄膠着して來た。然し膠着を脱してゐる兩國間には、正式な交渉條件を纏へた數多の問題が毎に仕てゐるので、長く日露が續續に其儘に置くは事實上許されぬ點になつて、無爲無策の時將到來する事は、識者の察へ得ない處であり、兎論の趨勢も日露關係の一日も早く安定する事を希望するやうになつた。

昨夕親しく岩瀬の任に就つて露國

突如市會に意志表示

後藤新市長は二十五日午後一時
半、新市長は冷も市警廳、
定例日として、警廳、
が隣地に於ては突如として
参事會員 登部に録し
重要事件あればとて一兩を市長室
に召致したるは

突如市會に意志表示

しめた、
附て、
對軍問題は市長現職の機で交渉
を進められ、
障害を來すものでないから、
だけでも懸けてゐて貰ひたい
と留任を要請したところ、

參事會員

重要な役あればとて一同を市長に招致したる上

諸君御承知の通り對露問題等に關し用務多忙を極めて居るに加へ身邊上に就ても相當考慮を要すべき事情に遭はれてゐる此際引續き市長の連擔にあることである可なり心勞を増すことであるから市長の重職を辭したいと決意した次第である

とて留任の意無き旨を
参事會員は「然らば」

後任市長に就ては如何に考へられるか」と突込んだに就いて後藤子には

後任市長に就ては何等容喩すべき性質のものでない之れは全く市會の自由意志に委すべきものである

答へ諸君森が形式に辭表は提出しないから二十六日午後市廳に於て三曜夜とも協議し形式の辭表を以て三曜夜其他の激進に就て參事以上を離奪することに決し代

柳澤近藤
市會正副

長を賓客にて市長室に招致し同席
辭意を述べたに對し柳市長は「市
長の職にあらずも對立問題の解決に
は力雖無^いいと思ふから留任せられ
たい」との旨を懇請し約半時間會
談を爲したが市長は「辭職の
意は到底翻し難い」と答

部でも知らなかつた程であ

外にも、今の我輩は身邊の事情
 あり色々多忙を極めてゐるが市長
 としてゐる體は意氣ではなかつた
 と思ふ。現に一日だつても市長案に
 其を見せなかつたことはない。此の
 二三日は睡眠時間も五時間位しか
 ないことが續き、それも小半前の我
 輩なら大いにやつて見たいと思ふ
 が近頃は思ふやうには行かなくな
 つたので、此際市長の激勵を蒙り
 奮もしたいし旅行もしたいと思
 ふ。東京市の仕事は二期位居ても
 満足な成績は擧げ得ない少くとも

助役以下の進退

後、市長辭職後の東京市は如何に
なり行くかは、寧ろ注意の點とな
つてゐるが、先づ水田、池田、藤
田の三助役は市長の推戴に依り、
も市政上から見れば政務官とも稱
すべき首腦部に位するものである
から、二十六日三助役は市長と共に
芝罘嶺する等であるが、此の内藤田
助役は此會事案を懸注してゐる關
係上或は留任するかも知れないと
の説がある次に長尾電氣社長は目
下の觀察となつてゐる地下電氣軌
道の問題については、前報の如きは
して、議長以下は、密議もせざない
旨を申し合せたものと傳へられる所
にして、遂に當然なる問題は、依て市長
の建議であるが、後、市會を中心と
し、助役間に、此際後藤の人物は
考慮しない、所望であるとの事であ
る從つて、茲に内田喜吉氏、並、豊早
く座はつてゐるが、後藤系では、前記
云々、據るとの説があるから、後任問
題に就ては、市會に於て、又復、善い事
であらうと云はれて居る。

藤子辭職の眞意は

政界に勇躍の準備

後藤市長辭職の真相に就ては實は加藤内閣成立直後に於て市長の職にあることが随分支那の自由を握束し遂に政界に搖ぎ出すの機會を失つたに加へ安田翁の物故は市の重要事業の前途に濃き陰翳を投げ

アアド博士の忠言に従つて其の事業の概略を明かにしたに加へ日比谷公館の建築も速く實現の途に達した而して其他の事業にありては財源を得なければ到底目的は達成せられない概略となり市税上四厘の事情は次第に警察に於けるに

んでゐた矢先日露

を告げるの儀であるから茲に到職
任期を満了するもの、抱負の一部がを
も實現するは欣慰なる實狀を前に
し此間には稲田助政も此處市を去
るが將來の前途に重大關係ありと
の意圖をもらして禮そかに辭職を
辭めたるやの等もあつた結果其後
跡継子は辭職の機會を捉へるべく
漸く焦進した形跡もある位である

性來奔放 然に洗滌せる政略に頭脚を盡せる
人との存望に於て上り遂に射獵の
多忙を極め、到職市長の職に留まる
ことは自由を拘束せられたが爲めに
折角曙光の見えて來た日蓮の園を
上に一鞭揮を來た千の憶がないと
も限らないから此際一人として

とりぐの世評

不思議はない
犬養毅氏談

不思議はない

大養毅氏談
後藤が市長を辭したつてそりや初
耳だ、尤も久しい以龍から辭す辭
すとは言つて居た、今更辭したつ
て何の不思議は無いではないか、
後藤が辭すのは政局の前途を見越
して辭すのでは勿論あるまい、着
るん、ヨツフエ君を呼び込んで居
る以上は後藤としても乗り出した
のだ何とかが結末をつけなくては

驚くに足らぬ

面目がなからうぢやないか。然し
國問題には却て面倒だワイ

今が辭職の時か

横田政友總務談

後藤子は政治家としては天分の豐
富な人であるが市長としては此の
豊富な天分が多數の市會議員の容
るゝ所とならぬ爲め市長の職を執
るに當つても事志と違ふことが
あつた様に思はれる。即ち後藤子
は一方に経験を積み進歩する人であ
から市會議員は之に基盤を據るべ
き筈であるが後藤子の此の天才的
の閃めきが却て多數の市會議員を
して後藤市長に對する安心の程度
を薄からしめてゐた様である。從
つて、後藤子は何れの機会にか辭
職したい考へを抱いて居つたので
あらうが時偶々ヨッフエ氏との問
題が起つたので之を機會として辭
職の意を固めたものと察せられる
然るに世間では或は政局と何かの

關和知氏談

後藤市長が辭職時關交遊の網に當
ると稱して突然辭職を申出たのは
輕狂的行動ではあるが後藤子のこ
とであるから左に數くには足らな
い。關氏は曩に市會を去らぬ爲めに
支那旅行を唱へたこともあるので
乍ら關氏對外交遊關係失に口實を得
たものとも思はれる併し假令交遊の
責任を執つても成果は豐饒なから
う只茲に注意を要する事は關國
は日本軍の撤退を希望し同時に日
本をして露國を承認せしめ之を以
て他の諸國に承認を要望し露國の
國際的地位を確立せんとすること
である然るに大隈長春の兩會議員
に於て明かなる如く彼我の意見は
甚だ相違し關中尼港事件の解決は
依然交遊の支障であらう、けれど
も何と云へば此案件を解決したい
意圖もあるもので、偶後藤子の如き
ものがヨッフエ氏との關係上及び
申したと思はれるが假令同子に佐

留任を勧告する

自分は天武九年十二月十五日當時
 藤原祖の招を受け官邸に於て後
 藤原祖と藤原祖の意を受けて後
 藤原の市長就任を断脱する處あつ
 た當時藤原は藤原祖大調査を
 密議に考慮し藤原の東京市政を考
 慮し得べき人物を賜ふしなれば
 ならぬ大正九年五月幸、藤原部
 断脱した後藤原の山裏かに見と日
 藤原の國政を再興することに就て同
 子は餘生の決心を懷いてゐること
 を看取したのである

甚だ遺憾だ

近藤達兄氏談

二十五日朝後、市長から電話で是非會ひたいと云ふて来たから午後三時、市役所に出席。河津議員と自分か會見した市長は身邊の都合で辭職したいから説明をせたいといふ事であつた。我々は最初市長に拒絶した。藤野から「藤村が却て々々意を固として断かれないものがある」と云ふので、藤野の提議を見る事であらうが個人的にも亦東京市の局に甚だ鬱鬱に當へない。後藤子か市長に就職して以來市長は會ある筈に市民に對し自分の意見を度々したのは、現代の市長の中に於ても稀かに見られた。馬場市會舎の新築、公舎の建設又は何れも東京の代表者は櫻井市會の様に、いた事は、同子の功績と見てよし。殊に後藤子が入つて以來は、獨り市長の位置を離れたのみではなく、役所内の多岐の關係を一掃し得たのは同子の手腕に堪るものが多し。同子の如き一種の力を有するものが、今面に市長の椅子を去ると云ふことは、東京市の事態の爲めに甚だ害むものである。

後藤市長辭職を聲明

ダラリ急と……と永田助役笑ふ

狼狽の色

俄かに漲る

矢は弦を放れた

市長の辭意は飽くまで固い

市參事會の留任勸告

問題で第一に喰つたのは市参事小坂、若林の四氏が各派代表の留任の連中である『いや飛んでもない勧告者となつて、六時頃東京市の自動車になつて了つた』とどうも

突然、こんな事を言ひ出されて「……」と平生ならば會ふ人毎に市政職をやる人々が、此日ばかりは氣れ返つて今更のやうに色を失つてゐた。黙つて頷と考へ込む御澤澤、細い腰の置き所もなくウロ／＼の近藤副議長、眼鏡越に

麻布、市長の辭意は飽まで固い『咄』を聽れた矢のやうに、もう仕方がないだらう』と永田助役は云つた、四谷の各代表を送り出した後の市議は、内記課員が電話をかけるやら、しく廊下を走るやら、暴風の後のや

眼をギョロつかせ、ニヤニ
うな忙しさで
内記課長とが

騒ぎである。市社会は直にお得意の緊急秘密會を開いて善後策を講じたが、素より留任勸告より外に善いと思ふの計はない。暗喩、暗示、

助役 室で密々話をしてゐる

時、大きな殿が二疋長い廊下をすつと走つた。變な暗示である

後藤市長の年俸寄附で
光つてゐた社會教育課

後藤市長を辭職すると市社會教育委員會費六千九百六十圓、調査費三百圓、宣傳費三千圓、雜費二百七十五圓合計二萬八千六百圓、市長の寄附はない同額は自治

訓練費に依つて僅に光つ

てゐたが、自治訓練費は市長が毎年寄附する年俵二万五千圓で呼駁してゐたのである、十二年度豫算五万六千六百圓から市費の自治記念日費二万八千圓を引くと活動草價費九千九百七十七圓、講演會費三千十圓、展覽會費二千七百八十圓、市長の年俸寄附に依つて今日までに出来上つたものは市民讀本、童謡と市民歌とで、今後若し何等かの方法を講じなければ電車内のボスター、臨時の講演會、市の事業を市民に知らせる野外の公開活動寫眞音樂會等は全く出来なくなる。

音樂會 費二千三百圓、

苦み走つた面持

市長は誰がやつても

一期か二期ではね……

市長の椅子を呆氣なく蹴飛ばして退
廳した後藤子は、其まゝ廳有櫻田町
の自邸に歸つた、直ぐ後から留任
佐に來た市總事務の代表者小坂、福
田、若林、豊川諸氏と
會見して、それから、市長は奥
座敷の日本間で記者を引見した、驚
漉しの寛いだ顔子で、非恣を纏らし
ながら苦み走つた面持で「何かお邊
多事ではね、尤も歸めるとなれば
誰にも遠慮には及ばん積りだが」と
眼鏡をギョロリと光らせ、眉宇の間

兒玉伯 が適しく駆けつけ、市長と密談して直く歸つた、九時を打つと市長はマントを羽織つて車上の人となつた、多分兒玉伯と某所で落合つたらしい

缺勤した事ない

後藤子は大正九年十二月中旬市長に就任以來今日まで、三年四箇月間旅

首相と會見して以來

問題は急轉直下

市長を辭職した後藤子爵が、今後どんな芝居を打つだらうかとは世間の等しく注目する事だが、武蔵氏の所謂商工黨の

總裁を 承諾するのではないかと云ふ者がある「既に政黨に在る者が商工黨に赴るとは至難である後藤氏は何れの政黨にも屬してゐないから頗る好都合だらうし、それは武蔵氏達も希望してゐる所だ、彼は市會議員に實業家を大勢出した、服部金太郎氏は武蔵氏の命を蒙びて既に數回

懇請に 行つたぢやないかと云ふ者もある、又或勸選議員は「ヨウツエを招んだ事が既に辭職の第一歩で、無論内閣乗取りの野心さ、彼の芝居は最初に外相の椅子を奪つたのだ、上奏問題の黒幕には彼が參與してゐたではないか、外務省の空閒を使つて露國から日露協約の問題は日本の裏大政治家が離脱する害だとの

電報を 打たせたのも後藤の策謀だ、斯くして彼は先づ外相となり次いで來るべき現期政選に首魁たらんとしたので」と語つてゐた、然にしても後藤は日露協約完全廢止にしても後藤は日露協約完全廢止を政府から内々頼まれたとも云ふ、後藤が加藤龍根と會見してか問題は急轉直下したらしい

デモクラシーを

徹底させた事

である。後任は一切推薦しない積り
た」と、腹をゆすりて黙り込ん
た、其處へ

寫眞班
のカメラを向けら

れて市には黒卒にでもする氣かえ
てテレ隠しにカラ／＼と大きく笑ふ
が思一藏氏も道に緊張した態度で洋
服を着換へず玄關子に眞姫の指圖を
してゐた



藤子の決心

東京市長辭職と
日露交渉の擔當

後藤新平氏は、二十五日市参事會に對して、非公式ではあるが、東京市長を辭職する云ふ意思を洩した。後藤市長の辭職説が傳へられた事は、一昨ではなかつたが、後藤市長が自身辭職を洩らした事は、今度始めてである。吾人は、後藤氏が市長としての環境から見ても、辭職の辭意を、此の絶好の機會に利用した云ふが如き、否な程度をしない。

後藤氏が東京市長を辭して、専ら日露交渉の爲めに、就身的努力を爲さんとする決心に對しては、吾人は敬意を拂ふに躊躇しない。而し、後藤氏が大なる決心を以て、日露兩國親善の爲めに努力するとは、寧ろ當を得たものと信ずる。

二

後藤氏が長春會議決裂以來、兎もすれば險惡に赴かんとする日露兩國間の關係を憂慮して、日露協會の資格に於て、再三政府に日露通商關係の復活を建議したる事、及び、上海に立往生したるヨツフエ氏を迎へて、熱海に送り、政府對ヨツフエ氏間に横はる相互の誤解を一掃する事に努力して、兎も角、日露第三次會商の後備的協商を導いた事は、日露兩國國民の感謝し惜かざる處であらう。

や後藤氏は、ヨツフエ氏を日本に來らしめたことに就て、幾多の壓迫を受けたる事實あるに於て、今日の曙光を見出した事は、寧ろ當然の成行ではあるが、愈々政府の意を承けて、熱海に向つた時の子の得意は、蓋し想像に餘りありた。

三

政府殊に外務省は、ヨツフエ氏の速に日本を去らん事を冀望して、種々の説を流布したのみならず、後藤氏のヨツフエ氏接近を妨害すべく、ヨツフエ氏は依然一旅人である云うて、對露交渉は總て浦潮を経る事とした。然るに此の姑息なる態度は、却て勞農政府の對日態度の硬化となり、二進も三進も行かぬ破目に陥るの已むなきに至つた。此の難關を突破して、對露交渉の手段を得るは、唯僅にヨツフエ氏に存する事に氣付くに至つた。政府、殊に外務省の愚劣さ加減は、沙汰の限りであるが、國家國民の爲めに堪を忍んで、後藤子に權限を依頼した政府の約變は、以て罪業の一部を償ふものと見られぬでもない。

四

後藤氏は對露交渉に關する、權限の任務を盡すに於て、政府に希望を陳べ、而して其の希望は容れられた。更にヨツフエ氏は其の旨を告げて、氏の意圖を徴して歸京した。歸京の翌日、後藤氏は突如、東京市長としての辭意を、市参事會に告げたのである。之に關して區々たる觀測が行はれて居るが、後藤氏は今回の交渉に當つて、大なる決意を有するを暗示しただけは、間違ひのない處であらう。吾人は子従來の態度から見て、

爾かく信ぜざるを得ない。

五

ヨツフエ氏は數日中に、熱海を去つて東京に來る事となつた。日露第三次交渉は、愈々濃厚度を増して來る。此の際に於ける、後藤子の東京市長辭職は、更に注目される。政府は既に長春會議に於て、ヨツフエ氏に配するに、一局長あたりを以てした事を悔いて居る。ヨツフエ氏が勞農政府に於て、如何なる地位に居るかも知つた。今回の第三次會商に於いて、内田外相自ら之に當るか、若くは相幫政界の立役者を之に配するの意ある事は、餘りに明白だ。後藤氏が全權に任せられるであらうこの觀測は、蓋し無稽の事ではない。尤も後藤子自身としては、交渉不調に終つた場合、萬一の用意であることも云へるのであるが、折角行り掛けた手前、政府が後藤子を日露交渉の全權に推さん意圖だにあらば、後藤氏は固より喜んで之を承諾するであらう。吾人も亦今回の全權は、後藤子を以て適任なりと信ずる。後藤子の大なる決心を以て起つた云ふ事に關しては、當分のヨツフエ氏は勿論、國民の多數が好感を以て子を迎へる事であらう。從つて夫だけ、日露交渉を有利に導く事は、云々でもない。

流石に後藤氏は政治家である。機會は爾來のものではない。福を轉じて福を爲す轉機も亦、此の用意の外に出ない。吾人は總じて、後藤子今回の勇を多とするものである。

後藤子の市長辭職が捲き起す

政界の波紋

首相候補が一人増えた

後藤新平氏の東京市長辭任理由は、問題の管轄と云ふことに運んだのである。而も市長としての經驗は概ね失敗に終り、遂に出馬を懇請した市政關係者すら近時後藤子の心事に疑念を抱き、

非難の聲漸く高まり、

心術を

長就任當時より一時の出来心即ち當座の腰掛として就職し、旋回し來んとする政界の潮を窺成るものも信じて居た。是は高橋内閣崩壊の當時、子が各方面に密使を派し、政權を窺ひ又郎黨をして後藤内閣組織の宣傳を爲さしめたるに見ても明かであるが、加藤内閣の實現に及びて愈々無慮し始め、次の政權を握るべく只機會を狙ひ、夫にしも朝野の調和を惹き置くの最も賢明なるを知り、乃て例の芝居氣も手傳つてヨツフエ氏招待となり、殊露

後藤黨

を組織せん。奔走した者もある殊に中樞德五郎氏父子との間に或種の默契あり。さへ傳へられ今日に至るも猶是事の秘を爲す者があるから政友會幹部は相當の警備を爲すものと見て誤りがない。其他憲政黨亦脫黨者の防止に努むべく、革新俱樂部は大森毅氏との關係から種々計畫する所があらうと思はれる。之れを要するに、熱地に居る首相候補者が一人殖に譯であるから、今後の政界は事毎に興味ある見物が出来ようと思はれる。

市藏さんにも

内密での決心

けふ正式辭表を出す

後藤市長

東京 12.4.26 日日

後藤市長はきのふの市参事會で突然辭意を表明した。長い間、密にあつた事が、一近時身動きを市政を見る能はずといふ理由で、後藤市長は「市會の不信任にあふか自分の健康がゆるさないか、でなければ就任當時はよさない積りであつたが、このごろのいそがしさ、毎晩五六時間しか

「寝られ」ないと感

はうけとるが辭意はひるがへさない、市長をほんとにやる氣慨ならせめて十年はやらなければ駄目だ、それに自分が就任したのは一戦でも市政の爲になる事をやる

「成算が」あつたから、だ、こんどの事は三助役にもせがれ、市藏氏にも認さなかつた。だ、よすといつたら内務大臣も知事もとめる事は出来ない、就任中の快心な事は市民のデモクラシーを徹底させた事だ、後任市長は絶対に推薦しない、しかし辭職しても市政に冷淡にはならぬ、市政調査會の方で充分やる積もりだ、と死のたまつた言葉を、永田助役は助役で「辭職は放れた矢だ、助役はもろに一週託生さ」といつてゐる。

